

---

# Applied Economics Intensive

2023/08/07~09/01

---



# index

- **The Impressions of Scotland** ..... 3  
(スコットランドの印象)
- **The Impressions of the City of Edinburgh** ..... 3  
(エディンバラの印象)
- **The Impressions of the University of Edinburgh** ..... 5  
(エディンバラ大学の印象)
- **The Accommodation (Sciennes)** ..... 6  
(学生寮)
- **The Three-Day Weekend Trip** ..... 8  
(三連休の旅行)
- **Academic Reading and Writing in Economics Lessons** ..... 9  
(経済学の授業を通じたアカデミックリーディング・ライティング)
- **Research Skills Lessons** ..... 10  
(リサーチスキルの授業)
- **Poster Conference** ..... 11  
(ポスター発表)
- **Research Project Final Presentations** ..... 12  
(リサーチプロジェクトのファイナルプレゼンテーション)
- **Reflections on Our Experience on This Program** ..... 13  
(参加学生による本プログラムの感想)

## [ The Impressions of Scotland ]

Sanatsu Sumida

街並み・人・お金の3つの側面から、スコットランドの印象をまとめたいと思います。

まず街並みについてです。一番初めに受けた印象は、「ゴミ箱おっ！」でした。観光地であるため、街中にゴミ箱があふれており、そのおかげか道端にゴミが落ちていることがありませんでした。そして次に感じたのが「信号みじかっ！」でした。青になって体感5秒くらいで赤でした。そのため、そもそも信号を守っている人が少なかったように感じます。エディンバラ城や教会をはじめ、劇場などすべての建物が統一されており、古い町並みが残っていて美しい街でした。エディンバラは街が大きすぎず、すべての場所が30分程度の徒歩で行けました。そのため、交通機関に乗ることがほとんどありませんでした。治安が良く、22時以降に出歩いたこともありませんでしたが問題ありませんでした。スリも少ないので安全ですが、浮浪者は少し多かったように感じました。

次に人についてです。とにかく優しいです。エディンバラ大学の先生やメンターさんはもちろんのこと、店員さんや道を聞いた通りすがりの人まで、出会った人すべてが優しかったです。授業の一環で街頭インタビューを行いました。断る人が一人もおらず皆快く丁寧に回答してくれました。ご飯屋では毎回、食べている途中で店員さんが来てくれて「どう？美味しい？」と声をかけてくれて、とてもいねいな接客でした。

最後にお金についてです。円安の影響もありますが、とにかく物価が高かったです。お昼ご飯はTescoというコンビニのようなスーパーマーケットで安く済ませても£3.9で、日本円でいうと約720円です。カフェなどで食べると最低でも1500円ほど、ペットボトルの水が安くて380円など日本に比べると物価が高い印象でした。

このように3つの側面から私はスコットランドの印象を受けることができました。



## [ The Impressions of the City of Edinburgh ]

Shinji Omi



実際エディンバラで一か月間生活し感じたエディンバラの最大の魅力は二つあります。一つ目は歴史的側面の魅力、二つ目は文化的、特に芸術面での魅力です。8月に街を散策すれば容易にその魅力に気づくことができるでしょう。エディンバラは1995年に「エディンバラの旧市街と新市街」が世界文化遺産に登録されました。街全体が世界文化遺産に登録されているのです。中世の風情を残す旧市街と18世紀に造られた新市街、溪谷を挟み接する二つの都市景観の融合がほかの街にはない、エディンバラならではの魅力です。

中でも、エディンバラ城やロイヤルマイル、ホリールード宮殿は代表的なランドマークでしょう。また、先に言及したように、歴史的側面だけでなく文化的な側面もエディンバラの大きな魅力です。エディンバラでは毎年8月、「エディンバラ・フェスティバル」が開催されます。エディンバラ城の構内では、毎晩各国の軍楽隊による各国固有のダンスやマーチが披露される「ミリタリー・タトゥー」が開催され、街中の通りでは世界各国から多くの大道芸人がパフォーマンスを繰り広げ、そして街中のたくさんの劇場では様々なジャンルの劇が一日中開催されていて、大変盛り上がります。そしていうまでもなく、バグパイプやキルト、タータンチェックやスコッチウイスキーなど、趣深いスコットランドの文化も毎日のように体験することができます。イギリスでは18歳以上であれば飲酒できるので、パブに行ってお酒を楽しむのも大変いい経験になるでしょう。私は酔いやすく、あまり飲めませんでした。



Shiori Sasaki

エディンバラはとても素敵な街であり、初めての留学にとってもいい街でした。その理由を大きく3つの点に分けて説明します。

まず私が初めてエディンバラに到着した時の感想は街並みがとても綺麗だということです。市全体が世界遺産であり、建物は歴史的な建物が並ぶ通りもカラフルな通りもあり、緑も豊かで、ゴミも少なくどこを切り取っても本当に綺麗な街です。寮から大学まで20分ほど歩くのですが、その通りもとってもいい街並みで毎朝歩くのが全然苦ではありませんでした。寮の近くには芝生が綺麗な大きい公園があり、現地の人もゆったりとした時間を過ごしていました。

留学にとっても適していると思う理由としては、小さくまとまった市であることが挙げられます。実際に、授業で現地の人にエディンバラの良いところを尋ねる機会があったのですが、この回答が一番多かったです。エディンバラの観光はほぼ徒歩で済ませられます。私はエディンバラ以外にも色々なところに行ってみたかったので、途中から週末に電車で行くような遠出をして、学校が午前で終わる日にエディンバラの観光をするという計画を立てました。

また治安がいいというのも魅力の一つです。海外は治安が日本と比べて悪いと言われているので、ボディバックなども一応持って行きました。しかしエディンバラでは実際に使うことは少なく、一緒にこのプログラムに参加した仲間も含めて誰も貴重品などを盗まれることもなかったです。公園にカバンを置いてままサッカーに夢中になっても盗まれないくらい治安が良かったため、逆に言えばあまり海外が危険だという実感がありませんでした。果物屋さんでは店の外の道に面したところに陳列されていたりします。盗みなどが起こらないからできることだと思います。

留学中、エディンバラ以外にも色々なところに行きましたが、穏やかで綺麗な街エディンバラでここが初めての留学先で本当に良かったと思っています。

## [ The Impressions of the University of Edinburgh ]

Rio Hosoki

最初にエジンバラ大学を見た時、日本の大学と全く違う、と感じたことが印象に残っている。日本の学校とは異なり全体的に石造りであり、とても広く、雰囲気もあった。広すぎて迷子になりかけたほどであった。また、歴史的建造物の一つであるように感じるほど歴史を感じられたが、設備はしっかりと整っており、快適に大学生活を送ることができた。例えば、授業の中では、パワーポイントの資料を大きなスクリーンに映し出して授業が進められるため、とても見やすく授業を受けやすかったし、各クラスの前に電光掲示板が設置されており、そこにその教室をどの授業で使用するかが書いてあったため、安心して教室に入ることができた。また、大学内には水を無料で汲むことができる場所があって便利だったし、環境にやさしいと感じた。



大学は寮からは徒歩 20 分以上かかり、少し遠く感じられたが、その道中や大学の近所にスーパーやお土産屋、レストランなど様々なお店があり、帰りに寄るのがとても楽しかった。学食はあったが少し高く、近くのスーパーで比較的低くお昼ご飯を買うことができるとも便利であった。

大学にいる方々についていうと、最終レポートに際して大学の先生やスタッフの方々にアンケートをお願いしたが、どの方も気さくに対応してくれて、日本の大学に比べて、気軽に質問したり話しかけたりすることが出来るのではないかと感じた。また、休憩中におすすめのレストランがないかを尋ねても、快く何個も教えて頂けて、先生方との距離が近くて楽しかった。

一か月を通して、エジンバラ大学の印象は、最初と変わらず「日本の大学と違う」というものであり、日本の大学を悪く言うわけではないが、とても過ごしやすかった。



Koki Kawakami

僕は、エディンバラ大学の印象について書かせていただきます。まずは、エディンバラ大学のキャンパスの雰囲気についてです。エディンバラ大学のキャンパスは、歴史的なエディンバラの街並みの中にあり、とても落ち着いた雰囲気がありました。キャンパスには石造りで、歴史ある建物が並び、まさに僕の想像していた西洋の大学といった様子でした。僕たちがプログラム中に通っていたホリールードキャンパスには、留学生がたくさんおり、異文化交流にうってつけの場所だと感じました。その他にも、様々なキャンパスがあり、ダーウィンの学んだキャンパスなども依然として残っており、歴史ある大学ということ

が肌で感じられました。図書館等の施設も充実しており、学びの環境が整っていると感じました。また、このプログラム中には、授業を行ってくださる教授と、メンターと呼ばれるエディンバラ大学の学生が僕たちの身の回りのことをサポートしてくださりました。エディンバラ大学の先生やメンターたちはとても親切で、安心して楽しく学習を重ねることができました。さらに、このプログラムの中で、担当していただいた教授やメンター以外の教授や学生と話をさせていただく機会があったのですが、皆さんとても親切に向き合ってください、学びの手助けをしてくださりました。エディンバラ大学は、やはり歴史のある大学であり、学びやすい環境が整っていると感じました。また、エディンバラ大学にいらっしゃる教授も学生もとても親切で、エディンバラ大学では、とてもいい経験を積むことができました。

## [ The Accommodation (Sciennes) ]

Hikaru Inoue



僕は寮のあった通りの近辺、そして寮生活について書きたいと思います。

僕らの利用した寮は Sciennes という通りにあり、寮にはエディンバラ大学に通う他の留学生も暮らしていました。寮の部屋は四人一部屋であり、四人それぞれにベッドと机付きの自分の部屋が与えられます。湯船とトイレは別々で、広い共同スペースにキッチンが配置されています。寮生活の一日は、登校から始まります。学校までは徒歩で 20 分程度かかります。授業が終わり、観光などが済んでから主な寮生活は始まります。

まず、その日の夕飯をどうするか部屋のメンバーと決め、必要な材料を買い出しに行きます。

というのも、最初の一週間は寮近くのレストランで夕飯を済ませていましたが、円安であったのと物価が高かったのもあって、自炊のほうが楽しく安く済むことに気づき自炊をするようになりました。寮から徒歩五分以内にスーパーマーケット

が二つあり、どちらも比較的安価で食料や飲み物が手に入ります。

僕は料理が不得意だったので、1 回炒飯を作った以外は料理の手伝いや食器を洗ったりしました。料理を作るまでの間や食事後の時間に授業で学んだことの復習や課題をこなし、

就寝するまでの時間は共同スペースで部屋のメンバーと会話したり、コモンルームという

寮と少し離れた建物で留学メンバーと卓球やビリヤードをしたりして過ごしたりしました。

日本人同士なので日本語で会話してしまうことも多々ありましたが、英語で会話する縛りを設けたりして、なるべく英語で話す試みもしたりしました。

また、スコットランドでは 18 歳以上の飲酒が合法であったため、週末にはメインストリートにあるお酒屋さんで買ったお酒を部屋で飲み、皆で楽しく過ごしたりもしました。

最初はホームステイではなく寮生活になると聞いて驚きましたが、結果的に一緒に食事を作ったり、同じ空間で生活することで留学メンバーとの仲も深まったので、寮生活ができてよかったな、と思います。



私は学生寮についてお話したいと思う。もともと23年度のサマースクールはホームステイの予定だったが、学生寮に変更になった。今回私たちが泊まった寮は「Sciennes20」である。寮の名前かなと思っていたが、一度タクシーに乗って寮まで帰った時、寮に帰りたいと伝えたら番号を聞かれたので、1から番号が振ってあるのかもしれない。私たちが勉強していたキャンパスまで徒歩20分くらいあるが、自宅から横浜国立大学までの道と違い平坦な道だった。4人1室だったので、16人で合計4室だった。1室に一人一人個室が用意され、ベッド、クローゼット、たんす、勉強机が置かれていた。キッチンとご飯を食べるスペース、トイレ、バスルームは共用であり、バスルームは交代で使っていた。私は女3人、男1人計4人の部屋で過ごしたが、男女混合でも何も問題なかった。朝ごはんは買っていたパンや果物、ベーコンなどを個々人で調理して食べた。昼ご飯はみんな外で食べるが多く、晩ご飯は、一週目は、2人ずつ交代でパスタやラザニアなどのご飯を

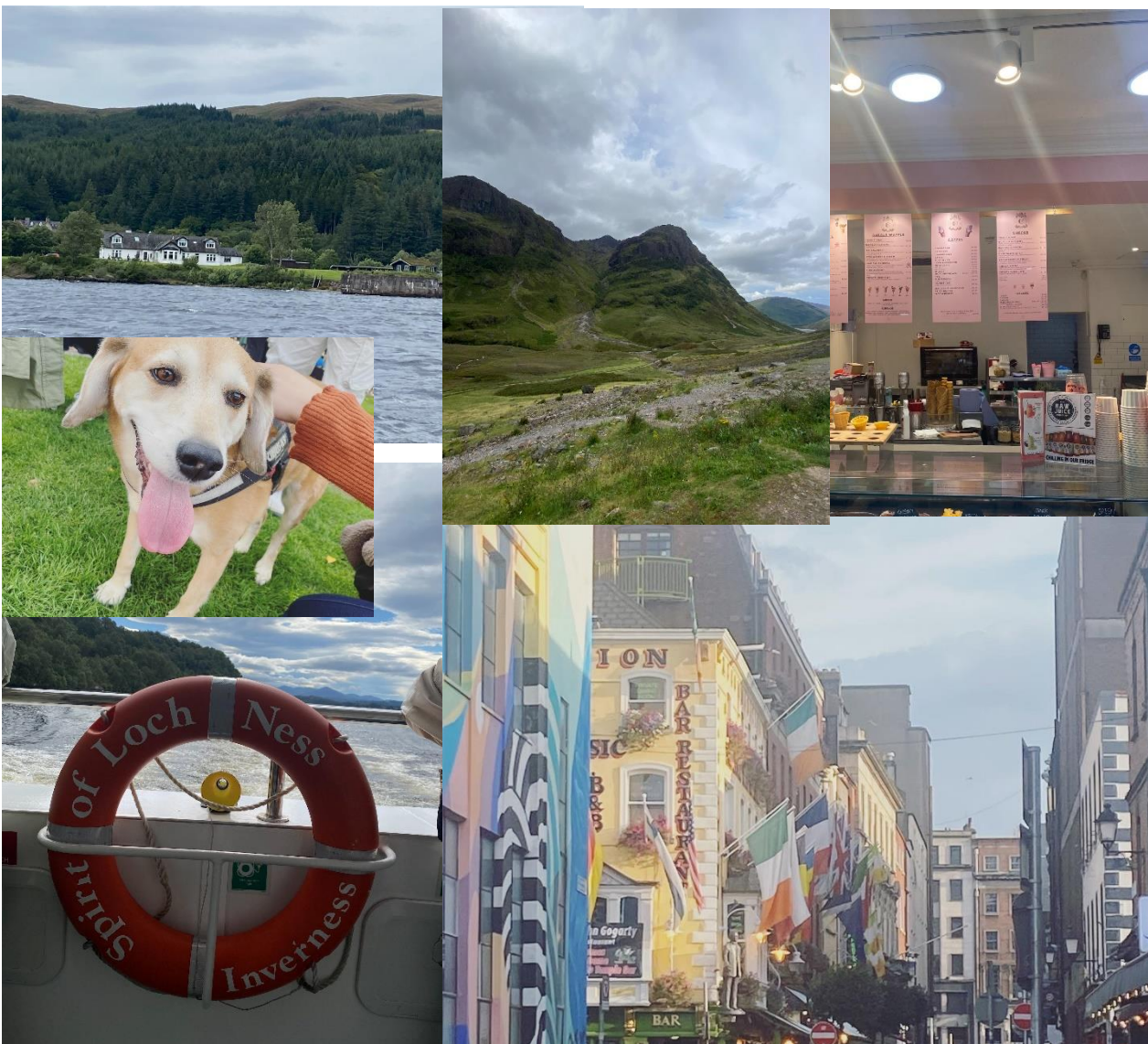
作ったり、フィッシュアンドチップスをテイクアウトして食べたりしていたが、二週日以降は、他の部屋の人たちがキッチンの故障も相まって一緒に食べたり、誰かが欠けた状態で食べることも多くなった。男1人は、さすがに肩身が狭いなどと思う。ホームステイでなくなったことで良かったこともいくつかあった。例えば、複数人で行う課題をすることに不便がなかったこと。キャンパスにいられる時間にも限りがあるし、一緒に作業するとなれば寮であったのは利点であった。また、コモンルームがあったこと。卓球台、ビリヤードが設置され、テーブルやソファがある広い部屋だった。そこでみんなの交流が深められたと思う。そこで卓球で遊んだり、課題をしたり、最終日はみんなでパーティーをした。学生寮だったからこそ、私たちはきずなを深められたんだと思う。



## [ The Three-Day Weekend Trip ]

Kento Yoshisaki

私は3連休を利用して日帰りのハイランドツアーとアイルランドの首都であるダブリンへの1泊2日の旅行に出かけた。金曜日はGetYourGuideというサイトで予約をおこなったツアーに参加し、ハイランド牛の牧場を訪れて餌やりを行ったり、ネス湖でクルージングに参加するなどの体験をしたりした。ツアー会社によってはエディンバラ発着で1泊2日のツアーを販売しているが、日帰りでも十分に楽しむことができた。ハイランドツアーの注意点は車に長時間乗り、道路の舗装状況があまり良くない場所を進むため、車酔いしやすい方は注意が必要である。土曜日、日曜日はRyanairを利用してダブリンへ旅行にいった。結論から言うと、非常に楽しかった。ダブリンではアイルランドの伝統料理であるラム肉のシチューを味わったり、聖パトリック大聖堂やキルメイナム刑務所などの有名な観光地を訪問したりした。町自体がそれほど大きくないため、行きたい場所を絞れば1泊2日でも十分に楽しむことが可能である。旅費に関して、航空券は往復約一万円で手配できた。また、ホテルは民泊を利用し5人で利用したため一人約一万円で利用することができた。注意点はイギリスと異なり、アイルランドではユーロが通貨に用いられている点だ。多くの場所でカードが利用できるが、路線バスを利用する際に現金が必要になった。気軽に海外旅行に行くことのできるイギリスの地理的条件の良さを生かすことができた。この3連休を上手く活用し、思い出に残る有意義な時間にする事ができた。





# [Academic Reading and Writing in Economics Lessons]

Shiho Asai

今回のプログラムは、エジンバラ大学に1か月通学して英語力を向上するというものでした。その中でもリーディングスキルとライティングスキルに関する授業において、英語力向上のために多くのことを学ぶことが出来ました。

1か月のプログラムの中では英語の4技能それぞれに対応した授業がありました。リーディングのクラスでは経済に関する学術文書やニュース記事を読み、要約やボキャブラリーの確認を行うことで語彙力の向上と経済的な用語、学術的な用語を身に着けることが出来ました。ライティングのクラスでは経済に関するトピックを自分たちで選択し、それについて小エッセイを書きました。授業中に先生やメンターの方々に自由に相談でき、アカデミックな表現や文法のミスを丁寧に確認することが出来ました。

授業の中でも特に役に立ったのがAWL(Academic Word List)、類語辞典やコロケーション辞典の活用方法を教えてくださったことです。和英辞典や英英辞典の例文以外にも単語の活用例、その動詞につく前置詞などがわかりやすく、また検索しやすくなったことで表現の幅が劇的に広がりました。AWLとコロケーション辞典を活用する練習も授業で行い、そのおかげで抵抗なくエッセイに取り組むことが出来ました。また、文章を書く際に重要なパラグラフライティングも改めて詳しく学習し、論理的に整理された文章を書く訓練も行いました。

そして、先生方やメンターの方々はいつでも疑問に答えてくれ、文章を添削してくださりました。先生方の支え無くして、1か月のプログラムの完遂はあり得ませんでした。わかりやすく的確なアドバイスのおかげで何に注力して学習すべきかを見出すことが出来ました。この1か月の経験が実りあるものになったのは先生方、メンターの方々のおかげでした。

Wakana Takamura

エジンバラ大学の授業では、英語によるプレゼンテーションや質疑応答の仕方、学術的な文法や語彙を使ったレポートの書き方を学んだ。平日の午前中に授業が行われ、グループやペアによるディスカッションの機会が多くあった。また、提出課題も数回あり、放課後や休日に取り組んだ。



授業では主に、アカデミックリーディング、ライティングについて学習した。アカデミックリーディングについては、経済の専門用語が多く使われた複雑な文章を読みながら注意すべき点を学んだ。印象に残っているのは、読解の際にはスキミングとスキヤニングが大切であるということと、その二つの違いである。スキミングとは文章全体を素早く読んで概要を理解すること、スキヤニングとは必要な情報を素早く探して読むこと、ということである。アカデミックライティングについては、

AWL (Academic Word List)を使ったり、信頼できるサイト(政府などのホームページ)の情報を引用したり、それらの参考文献をレポートの最後に適切にまとめたりすることを学んだ。参考文献の書き方な



どは日本語の場合とは異なっていて戸惑ったが、先生やメンターからのアドバイスのおかげで身につけることができた。これらの学習を生かして、最終課題であるプレゼンテーションやレポートを仕上げた。プレゼンテーションでは、スコットランドや日本の農業や観光などのテーマについて様々な文献を読んで調査してまとめた。本番では質疑応答も活発に行われた。また、レポートでは発展途上国の経済や産業の状況を調べ、投資するべきかどうかということについて自分自身の考えをまとめて書き上げた。

授業は英語で行われ難しい点もあったが、アカデミックリーディング、ライティングについてよく学習することができた。今後の英語の学習に生かしていきたい。

## [Research Skills Lessons]

Kano Nakayama



英語で書かれた文献のみを利用して自分の必要とする情報を探しレポートを書いた経験がなく初めは不安もありましたが、リサーチを行うにあたって必要となる情報源の探し方から読み方、引用方法まで全て授業で教えてくださったため、今後自分が研究を進めるにあたり英語で文献を探すことへの抵抗軽減に繋がりました。特に印象的だったことが二つあります。一つ目はスキミングとスキニングの技術です。大まかに文章の内容を理解するスキミングと自分の必要な情報を素早く探すスキニングはリサーチには必要不可欠でした。これらを身に付けることにより短時間で多くの情報を収集できました。この技術も授業内で練習する機会が多くあり、プログラムが終了する時点では意識せずに行うことができていました。二つ目はアンケートです。自分のプロジェクトに必要な質問を考え、町の人々にアンケートを取りました。リサーチには文献だけでなくアンケートを取り自分だけのデータを入手することも有用であると学びました。質問内容も倫理的、政治的

的に適切な内容か、文法は正しいかを先生方がチェックしてくださったため安心して行えました。また、どのように調べたら良いか分からなくなった際も先生やメンターの方々が検索に適している単語や文献を教えてくださいました。プログラム期間中、先生方は一貫して授業でのインプット、授業外でのアウトプットとそのサポートを行ってくれました。リサーチスキルレッスンは単にこのプロジェクトで使うスキルを身に付けるだけでなく、大学での論文執筆で利用する情報源の選択肢を増やし、より多角的な意見を持つことにも繋がると思います。

Shinnosuke Yamano

リサーチスキルについて話すと、自分たちは授業の一貫でスコットランドの文化や産業についての発表やある国に投資するか否かを議論し顧客に対して調査結果を纏めるレポートを書くビジネスレポート課題、自分たちでリサーチクエスチョンを決めそれをスライドにまとめてプレゼンテーションを行う最終発表課題など

様々なテーマで英語を使った活動をしたのだが、それらの準備のためには英語で文献を漁ったり、検索する必要があった。勿論、英語の情報リソースから必要な情報を探すことは初めてであったし、探し方も知らなかったが、エディンバラ大学の講師や現役のエディンバラ大学の学生チューターのお陰で少しずつ学んでいくことができるようになった。具体的にはスコットランドの公式的なサイトで色んな産業の紹介や統計を見たり、Googlescolar というサイトなどで英語の論文や学術的な話題を取り扱った記事などを検索するときもあれば、現地やイギリスのニュースサイトなどを見る機会もあった。また、情報を探す実習として自分たちで英語を実際に用いて町中でインタビューする機会もあった。アンケート用紙を英語で自分たちで作成し一人で町中でインタビューをするというのだ。これは本当に難しかったしとても緊張したが、上手な友達にアドバイスを貰ったり、予め文章を頭の中に覚えておくことでなんとか乗り越えることができた。総じて実践的な状況を想像して情報を集める練習ができたので将来英語圏で働くことをかなりイメージしながら楽しく取り組むことができた。時々、統計データの説明文の解釈だったりアカデミックな英文を読みこなすのに苦労したときもあったが英語圏の情報集めの作法を身につけることが出来たと思う。

## [Poster Conference ]

Suika Takahashi

ポスターカンファレンスはサマースクールの二週目に行われたポスターを使った発表です。サマースクールの最後に行われる期末発表に向けて発表の仕方や調査を試す機会でもありました。ペアで話し合っただけで教授が提案してくださった中から決め、そのテーマに沿ってインターネットや図書館、大学の外に出て現地調査などを進めました。農業や工業、観光など経済に関わる産業分野を主としたものだけでなく、食文化や毛織物産業といったスコットランドの伝統により注目したテーマもあり選びやすかったです。私は「スコットランドのゲーム産業」というテーマを選び同級生と準備に取り組みました。

準備期間は短かったです。授業の中で教授やメンターの方が発表の方法や例を丁寧に教えてくださり、私たちの台本や資料、練習の様子を見てアドバイスをしてくださりました。以前に横浜国立大学からエディンバラに留学に行った先輩方のポスターを見る機会があったことも発表の具体的なイメージを持つのに非常に助けになりました。

基本的に二人で準備するので役割分担や相談が必要で、授業後にペアの人と実際に外に出て調査に行くほか発表に向けた準備を進めるなど授業外での作業も重要です。発表の二日前には教授と進捗状況や不安なことについて短い面談をできる時間もあり、これは自分の置かれている状況を把握するのに役立ちました。

当日の発表には大学内の教授や同じくサマースクールで来ていた他国の大学生など多くの人が訪れると思います。私は発表の説明や質疑応答を行う際に、特に現地の方などは英語を話すスピードが速く理解に少し苦労することもありましたが、二週間の自身の英語力の成長や課題も実感でき、会話をする自信が付くはずでした。

宿題形式ではなくアドバイスを受けながら準備ができるので自信をもって作業を進められるうえに自身の



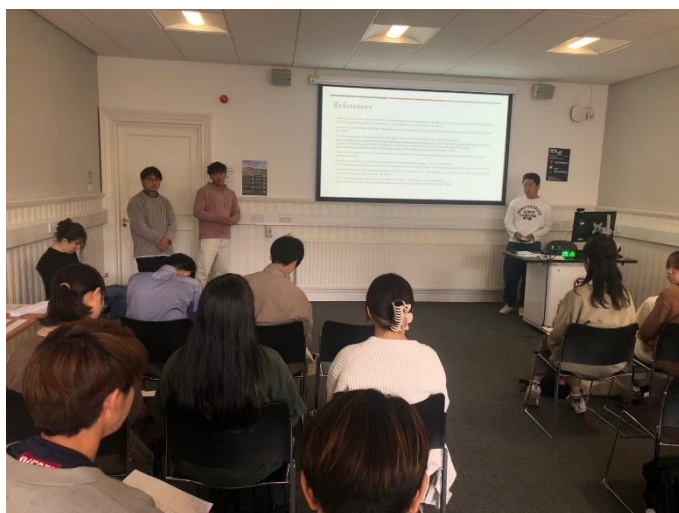
成長も確認できるので達成感もあり非常に楽しめると思います。

Shuichi Ishitsubo

4週間のプログラムの折り返し地点、2週目ラストにポスター発表会が行われました。ペアごとにスコットランドの産業や経済に関するトピックを選定し、調査・発表を行いました。トピックの例としては、観光業・繊維業・ウィスキー・再生可能エネルギーなどです。この活動を通して、私は3つの能力を向上させることが出来ました。一つ目は、発表の仕方です。ただ流暢に英語を話すのではなく、アイコンタクトやジェスチャーを用いながら相手の関心を引くことが重要だと学びました。そして何より、自信を持つことが欠かせないと気付かされました。発表の要点だけを暗記することで、限られた準備期間の中で発表の練習時間を確保し、練習の時から上手く話せるようになったことで本番での自信みなぎる発表に繋がったと考えています。二つ目は、質問への回答です。2分間の発表後、聴衆からの質問タイムがありました。事前に質問を予想して、それに答えられるように更なる調査をしていたこと。また問われたことに対し端的に答えることを意識したことで、質問者に納得してもらえ説明が出来ました。さらに質問をしてくれた人に感謝の気持ちを伝えることや、質問への回答に納得したか確認することが発表者としての礼儀であるということも学びました。三つ目はコミュニケーション能力です。ポスター発表会には他国からエディンバラ大学にきている留学生も参加してくれました。もちろん発表内容に関する質問も多くありましたが、日本のことを教えてほしいという学生が多く、シンプルに会話を楽しむことが出来ました。4週間の授業は横国生16人だけで行われていたため、このように留学生と交流する機会は新鮮でした。

## [Research Project Final Presentations]

Yuto Yamada



Research project と final presentation ではスコットランドの経済に関係する事柄について、各々のもつ関心が近い人とペアもしくはグループを作り、改めてテーマを修正・設定して行ないました。実際に私たちが調査したテーマは「スコットランドの社会保障」「スコットランドにおける経営学」「農業」「スコットランドのインフレ」などでした。これらテーマの多くは現地で生活して感じた不思議や日本との違いから設定されたような印象がありました。グループとテーマの決定後、日々の授業を通して単語や文法など基本的な部分から学術的な英語の運用方法

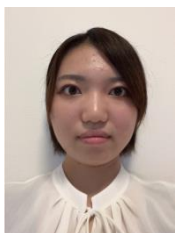
を学んだり、効果的なプレゼンを実現するためのノウハウを学んで練習したりしました。これらと並行して最終プレゼンの構想をグループメンバーと先生、メンターと練っていきました。また、街中で現地の方々に英語でインタビューをしたことは貴重な経験になりました。初めはシャイになり話しかけることさえ躊躇し

ましたが、どの方も笑顔で優しく答えてくれたおかげで最終的には楽しく気さくにインタビューできました。その際、私たちが少し難しい質問をしたとしてもジョークを交えつつ答えてくれ、現地の方の心温かさにも触れることができました。最終プレゼンでは一人当たり5分以上の発表を行い、その後発表内容についての質疑応答も行いました。どのグループも写真やグラフを用いてビジュアルを生かしたスライドを作成したり、疑問を投げかけて聴衆を巻き込んだりして非常にレベルの高いプレゼンをしていました。質疑応答では、現地の先生やマッコレー先生やクラスメイトからも質問を受けました。事前に質問を予想しておき準備はしましたが、どの質問も予想以上に批判的でかつ英語でのやり取りだったので非常に難しかったです。この活動を通して、実践的な英語の使い方やプレゼンの方法を学ぶとともに、自信をもって英語を話せるようになりました。

Seigo Iijima

リサーチプロジェクトはエディンバラサマースクールの最後に行われる活動です。2~3人のグループに分かれて経済に関するテーマを設定し、15~20分のプレゼンテーションを行います。すべての活動の中で最も時間を費やし、授業で学んだ知識やテクニックをフルに活用する、サマースクールの集大成ともいえる活動です。最終週は授業が終わってから夜までメンバーと一緒に作業していました。私のグループはスコットランドの経済についてプレゼンしました。まず英語の資料を多く集め、その中からテーマに沿った文献やデータを選んでスライドを作成しました。文章やグラフを見やすいようにデザインし、アイコンタクトや身振り手振りを使って話すなど様々な工夫をしましたが、一番大変だったことは聞き手に興味を持たせることです。ユーモアを交え、問いかけをするなど自分で考え、長いプレゼンテーションを飽きさせないような工夫をしました。プレゼンテーションは決して簡単ではありません。話す内容をしっかりと頭に入れ、プレゼン後にある質問にもしっかりと答えられるように入念に準備することが必要です。しかし、グループのメンバーだけでなくメンターや先生らと協力し計画的に進めればきっと成功すると思います。また、発表を聞く際にも質問を考え、発表者の工夫している点を見つけるなど聞き手の態度も非常に重要だと思います。時間も手間もかかる活動ですが、それゆえにやり切った時の喜びもひときわ大きいです。ぜひ頑張ってください。

## [Reflections on Our Experience on This Program]



I spent valuable time in Edinburgh studying English and learning Scottish culture. What I gained most was increased confidence in speaking English. Due to the situation that I cannot use Japanese mainly, I spent more time using English than usual. It helps me to improve my English skill especially on listening and speaking part. I talked with teachers, mentors, and my friends even after the class. I also interviewed local people for my study, and discussed about my study with many students, and professors. All of these are worthful practice for improving my English skill, and that is why I joined this programme. At the end of the programme, with my one-month study of academic English, I was able to present my final project with confidence. This experience really helps me to use English without concern about mistakes even after I came back to Japan. I learned and enjoyed British and Scottish culture a lot in my life in Edinburgh. I knew about British culture as I studied in history and geographic class, but it was not exactly same as I saw in my one month stay. People were so kind than I thought, food was more delicious than I expected, and what is more, buildings and nature were really beautiful.

Even in August, temperature was comfortable, and I visited some beautiful historical buildings such as The Palace of Holyrood house. Moreover, Edinburgh held the international festival and fringe festival in August, and I enjoyed them. What I surprised most was I could visit national museum and art gallery for free. I went National Museum of Scotland so many times, and I could learn about Scottish culture and history that I never studied in Japan. I gained a lot from Edinburgh and this experience made me more interested in studying abroad.

(Shiho Asai)



Through this program, I had very good time and experience in Scotland. I applied for this program because I wanted to improve my English skills. To tell the truth, before going to Edinburgh, I was scared to live in strange area and talk with others in English. However, now I realize that there are many attractive points of living in Edinburgh.

Firstly, I will tell you about the classes. We studied economics in English. we have many speaking, reading, writing lessons. I made great progress in writing reports in English and understanding economics. I did not actually know much about economics because I was a first-year student. It was great experience for me to see the economy from different perspectives. Regarding speaking and listening, we have discussion activity and some presentations. I felt nervous about speaking in front of others, but the more I spoke and listened, my vocabulary and range of my expressions increased. Finally, I could understand enjoyment and happiness of speaking English with various technics. Some people may feel anxious reading up to here. You do not worry. We have mentors, who helps us in various situations. You can freely ask for help in the class, daily life, and so on. This was very good for me.

Secondly, it is about the life in Edinburgh. we all stayed in the dormitory. We could make good friendships through cooking, chatting, and playing table tennis after school. It was also good for me to have lunch and buy souvenir with classmates. On weekends, each member planned to go out and visit famous sightseeing spots by train and airplane. On second weekend, I went to London. I visited the British Museum, Buckingham Palace, and St. Paul's Cathedral. We had great time on weekend.

Reflecting on whole activity, we learned a lot of things through living in Edinburgh. This program will broaden your eyes and mind. You must enjoy your time in Edinburgh. Thank you for reading.

(Seigo Iijima)



I had been able to live a fruitful time in this program. Everything was so meaningful for me. I enjoyed four weeks of classes at Edinburgh University, as well as free time on weekends. First, I explain what I learned in class. I participated in all the classes actively and tried to learn as much as possible from them. I learned having confidence is very important when I speak English. At the begging of this course, I was very nervous if I could keep up with the class because I have never had a chance

to use English practically. However, on the first day of the course, I heard my teacher said that using English with confidence without making mistakes is the best way to improve English. Therefore, I was

able to keep making my best efforts during my staying in Edinburgh. Also, I learned how to make a good presentation. I could gain great presenting abilities that will be useful in my future life.

Second, I explain the experiences in the UK. When I arrived at Edinburgh, I first thought that prices were too high. Many products were twice as expensive as those in Japan. I got interested in why prices were so high, so I used it as the theme of my final presentation. I learned that various factors such as Brexit (withdrawal from the EU) and sanctions against Russia cause the cost-of-living crisis. In this way, by going to Edinburgh, I could find the problem that Scottish are concerned about and deepen my understand about it.

Finally, I realized that my English ability was still immature, and I need more training of using English. I will continue studying English.

(Shuichi Ishitsubo)



-----  
Since I was a junior high school student, I had been interested in studying abroad. Before I took this course, I didn't have confidence in speaking English even I was good at reading, writing and listening in English. And also, I didn't have an experience to live by myself for a long period, so I got worried when this program began. But after the program began, I was able to get open up to the members sooner.

In the class, we can learn about academic writing and economics of Scotland with using English. Our teachers, Kate and David always talk in plain English, and we can understand the content of class easily. And after some of the class, we had an assignment. In assignment, we try using academic writing in practice.

In week 2, we had a poster conference. In this project, we made pairs first, then make posters about one topic and finally make presentation using posters. I and my partner made posters about renewable energy of Scotland. Through this project, I can make presentation in front of a lot of people almost perfectly and respond to a question about our presentation quickly. So, I can get confident in speaking English. After the class over, we can explore the town of Edinburgh.

In August, many tourists come to Edinburgh from all over the world, so in main street, we weren't able to walk without bumping into others. We can enjoy sightseeing and shopping there. And in weekend, we can go on a trip to Glasgow, London, Brighton and so on with using train or flight. I and two of the members go on a trip to London for three days off.

We had a good time there, but when I came back to Edinburgh, we went to a wrong airport and miss a flight. That was a bitter experience... Anyway, this course gave me an opportunity to spend weeks in an environment with English and confidence in speaking English. Now I came to think that it isn't bad thing to work in abroad in a future.

(Hikaru Inoue)



-----  
It was the first time that I stayed abroad for more than a week and studied abroad. I had to continue to study hard and every lesson was so satisfying. In terms of lessons, needless to say, the poster conference and final presentation were hard work and

educational experiences, but the most unforgettable skill was scamming. It is like an eye-opener. Before I went to Edinburgh, I usually read sentences, translating them into Japanese. As a result, I had to spend a long time to comprehend them. This is one of my biggest distresses. After acquired scamming, the time became shorter. Furthermore, I could understand sentences accurately. This may be because I read and learned a lot of English words. Not only practiced aspects, but I also experienced British culture, especially Scottish by visiting around the UK. I went to Glasgow, Highland, Manchester, Liverpool, London and Brighton for one month. Every city has a characteristic cityscape, culture, and history. All of them are very wonderful and interesting, but in my opinion, Edinburgh has the most beautiful cityscape, the most cultural city, and the safest city. Edinburgh is registered World Heritage by UNESCO. There are a lot of historical streets and buildings. In addition, the Edinburgh Festival is held in August every year. It is one of the most famous festivals in the world. Participants in this program can watch and experience it. I am satisfied with this activity very much. Prof. Kate, Prof. David, my mentors, Lina and Jenny, and Prof. McAulay are so kind and good at teaching, so I could have a comfortable daily life in Edinburgh. Thank you for your warm support Thank you very much to everyone who helped me.

(Shinji Omi)



I'm interested in studying English to communicate with people from other countries, and this program appealed to me, so I decided to participate. Since this was my first time going abroad, I was very anxious when I left Japan, wondering if I would be able to communicate well in English. However, when I arrived in Edinburgh, my anxiety turned to excitement. I was very motivated to study English for the first time in an English-speaking country and in the beautiful city

of Edinburgh. At the university, the teachers and mentors were kind enough to teach me how to give presentation in English, how to read and write academic texts and other slightly advanced topics in a fun and easy-to-understand way. The lessons enabled me to steadily improve my English language skills while learning about Edinburgh. Also, after classes, the mentors showed us around Edinburgh and took us to various fun places, such as Scottish Parliament and National Galleries of Scotland. I enjoyed learning more about Edinburgh. Moreover, Edinburgh had a major festival called Fringe during the month of August, and I enjoyed it on holidays and after school. I particularly enjoyed learning English at the shows, which took place every day at different venues, and I went to many of them. On holiday, I further went to on trips to Glasgow and London with friends, as well as sightseeing in Edinburgh. I felt uneasy about travelling to a strange place where I didn't speak Japanese, but I made an effort to actively interact with people in the city, as just talking to them was a good way to learn English. As well as the classes, all of the experiences in Edinburgh were fresh, enjoyable and developed my English language skills, and none of them were the best experiences I will ever forget.

(Koki Kawakami)





-----  
I had a wonderful time in Edinburgh. I experienced a lot of things and met good people. This experience will definitely be an unforgettable memory.

Why I decided to join this program is that I interested in visiting around the world and I wanted to go abroad to study early in college life. As a result, I found a lot of things I wanted to do in my college life.

I have been abroad only one time in my childhood, so I've almost never been abroad. I was a little worried before I left to Japan. I had a luggage inspection in English for the first time and after the long travel by plane, I arrived in Edinburgh. In the bus to our flat from the airport, I surprised the beauty of the cityscape. Then my stay in Edinburgh is started. In the class at University of Edinburgh, I took a class in English with a different content from the class I took in Japan. Our teachers are very kind to us and always care about us if we had any problems. Mentors, who are student in this University are very friendly and treated us like a friend. So, I enjoyed my life in Edinburgh without anxiety.

In weekend, I visited many places with my friends. I went to London, Highland, Ireland and so on. Of course, I used English in the class at university, but I used English the most when I went on a trip. Although I spent a lot of money in the trip, it was very exciting to have various food and see sightseeing. Using the transportation in foreign country is hard, but it was very good experiences. I got along very well with my friends who participated in this program together and they helped me a lot. To make my English improved, I want to go abroad again and live by myself.

(Shiori Sasaki)



-----  
I have experienced many things in my life that I could only have experienced in this program. In addition to it being my first trip abroad, my English language skills prior to going to Edinburgh were not sufficient to live abroad. I had more reasons not to go than reasons to go. Nevertheless, after experiencing the one-month summer school, I am truly glad I went and it has become an important part of my life. First, let me tell

you about my studies at the University of Edinburgh. We started with something as simple as how to give a presentation in English, and eventually ended up giving a 15-minute presentation by two people on the Scottish economy, up to a question-and-answer session. Both teachers and mentors were sincere in answering any questions that I had, and I received appropriate advice from them when doing my assignments. Some of the questions I asked them were, of course, related to the English language, but others ranged from recommendations on restaurants and places to visit, to favorite snacks. Next, I would like to talk about what we did outside the program. Basically, we had weekends off. Many of my friends went sightseeing by train or plane, and in fact, I went to London twice during the month (but I don't recommend it). It was here that I had my first experience of being in a strange place, in a less-than-perfect language, without any back-up and with 'only myself to rely on'. A recommendation is not to cram your schedule before you go to Edinburgh. You will have a lot to do once you get there, there will be days when you want to take a break and even assignments will not be easy. The first priority is to finish the program happily without getting sick. I wish you the very best experience in Edinburgh, broadening your horizons in life.

(Sumire Sugiura)



---

Through this program, I was able to gain two things.

The first is the acquisition of English ability. After taking four weeks of English classes on economics, I feel that my English skills have improved dramatically. It was the first time I took a class where everything was taught in English, but thanks to the teacher's clear and slow speech and the PowerPoint, I was able to take the class without any problems. Through group works, I gained the ability to express my opinions in English, and through presentations, I was able to acquire the ability to summarize and present points in an easy-to-understand manner, and I was able to learn how to summarize papers in English through report assignments. The class that left the biggest impression on me was the presentation I gave at the end. We worked in pairs to give presentations on each theme, and I was talking about entrepreneurship. In the process of making the presentation, I was able to improve my English skills by reading various English materials and conducting interviews on the street.

The second is that I was able to meet irreplaceable friends. Through living in the dormitory, I was able to deepen my relationship with the 16 members I went with. Even in the dormitory, we made time to speak English and encouraged each other, and we cooked together every day, so we lived together 24 hours a day and deepened our friendship. I think that the experience of living in a foreign country while helping each other lead to gain a bond that was different from other people. It was a very good opportunity for me to make members who get together regularly even after returning to Japan.

(Sanatsu Sumida)



---

In this program, I experienced lots of things and enjoyed them. I would like to tell you about my experience in Edinburgh on the two points, the impression of the city and studying in the university.

My first impression of Edinburgh was that it was a small and beautiful city. It was the first time for me to go abroad. So, I was very nervous when I arrived at Edinburgh Airport. However, the scenery of Edinburgh reassured me. There are lots of historical buildings in the center of the city, but large farmlands are in the suburbs. I could go everywhere in the city on foot and enjoy the food and its culture all the time in the summer school.

Next, I would like to tell you about studying in Edinburgh. I think we can visit other countries as a tourist if we have time and money, but taking classes there is precious experience. I also worried about studying in other cultures, but, in this course, the professor at University of Edinburgh taught me very kindly even if it was a trivial question. The main part of this course was improving our English skills and the skills of writing essay in English. We could learn the speaking skills such as the way of explaining clearly and many ways of response in presentations. There are two times where we could have presentations for other students in the university in the class, so I felt that what I learned in the class was very helpful and useful in such situations. There are two native students studying in the university in our class, and they helped us not only in class but also after school. They brought us to a tour, the museums, and Parliament of Scotland. It was very good opportunities to understand the culture of Scotland.

In this course, you can improve my English communication and writing skills. Learning about economics and Scottish culture will be very good experience.

(Suika Takahashi)



First, I learned how to write academic reports and make presentations at the University of Edinburgh. We made a report about investments in developing countries. We had to use words specialized in economics and formal citations. Moreover, we had two opportunities to give presentations. We researched the economy of Scotland or Japan, gave presentations, and had a Q&A session. I learned the importance of eye contact and speaking confidently. We also needed to survey the local people. I talked to them in the park and asked some questions. Everyone was very kind. It was hard to prepare, but the teachers and mentors gave us advice. We finished the presentations successfully.

Second, we visited various places in Edinburgh, London, Ireland, or Highland. Edinburgh has many tourism spots. After school, mentors took us on bus tours or to museums. Edinburgh was very lively because various festivals took place in August. I went to the Festival Fringe and Military Tattoo. On weekends, we were free to travel, shop, or rest. I traveled to London, Ireland, and so on. We visited



tourist spots, bought

souvenirs, or watched the soccer game. There was a lot of delicious food, and I was impressed by the afternoon tea. I could feel the differences of each place by talking with clerks or visiting various places.



enjoyed going

and traveling. I want to say thank you to those who worked for this program. This program will help you improve your skills and I recommend you join this.

Third, I enjoyed living with members of this program in the dormitories. We cooked together, played table tennis, or chatted into the night. We could spend precious time together.

This program helped me improve my English skills and understand the differences of cultures. I realized how much I

to foreign countries and became interested in studying abroad

and became interested in studying abroad

and became interested in studying abroad

(Wakana Takamura)



-----  
This program was so fruitful for me not only to study English but also to be more confident. I have two reasons.

First, a wide variety of the contents of classes. I could take some opportunities to give a presentation and answer the questions in English in front of everyone that I have never experienced. At first, I felt uneasy about my presentation, so I had to prepare a lot.

Thanks to many helps by our teacher and mentors, I could gather information and understand the contents in an efficient way. Moreover, this program offered many kinds of opportunities speaking English, such as a questionnaire, poster conference, sales pitch. I mostly have never such things, but they gave me confidence that I had done them all. My peers were also equally engaged, and such an environment gave me more courage to speak English.

Second, living in an unfamiliar place for a month. In the beginning, the time difference and cultural differences made it hard to get through each day. In addition, because I have lived with my parents all my life, it was tough to do everything by myself. I had to go shopping, but all information was written in English. However, all local people were so kind and always helped me, so I was no longer worried. The climate in Edinburgh was pleasant and comfortable to live in, so I was able to concentrate on my studies without getting sick.

This experience broadened my sense of values, as I realized many things by living there rather than merely traveling. It was definitely the most fulfilling month I have ever had. I would like to make use of what I have learned there and continue my studies. I hope to visit Edinburgh again someday.

(Kano Nakayama)



-----  
The experience in Edinburgh can be separated into two categories: studying one, and one in the free time.

First, as for studying, we could learn a lot about writing, reading, listening, and presentation skills. In these things, the most impressionable experience is Dragon's Den in week 3. That of our class was a game which we played both roles of entrepreneurs and investors. In our Dragon's Den, some students were entrepreneurs, called "pitchers", and they introduced their own products in order to gain money from "Dragon" to commoditize them. Others were "Dragons", which were investors, and they listened to the builders' idea and decided whether or not to invest them. This game needed all of English skills such as speaking clearly, writing attractive introductions, listening the pitchers' introduction. and having eye contact. It was in the week 3, and it seemed to be a review of class. I really enjoyed the game, and I proud of being praised that I asked question critically.



About free time, activities with mentors left me the most impression. After class, mentors sometimes took us to tourist attractions. Among these activities, I loved the bus tour in the first day the best since it was the first time to see around the city of Edinburgh. I remember the Greyfriars Bobby's shiny nose, which mentors said that the dog was one of the most famous dogs in Edinburgh. During the overseas study, I felt happy when I

found some structure which the bus guide had taught us. As time passed, I came to be used to the cultural city, and I thought that Edinburgh was like my hometown when I came back from other cities. Teachers said that they were glad to hear that, and I was happy to feel like that.

(Rio Hosoki)



-----  
As a research project and final presentation, we searched some advantages and issues about Scottish economy. At first, we made pairs or groups that was made by matching with someone who have similar interests. Next, we made terms, for example, “Social Security of Scotland”, “Agriculture of Scotland” and “Prices and Inflation in Scotland”. It seems that these terms were some questions and differences between

Japan we actually felt to live in Scotland. After that, we studied academic English skills from vocabulary and grammar, how to make a good presentation, and practiced speaking English fluently through the daily classes. Concurrently with this study, we worked out the concept for the final presentation with mentors. They helped us so quickly and kindly that we can smoothly proceeded preparation for the presentation. In addition, it was precious opportunity to interview locals. Although we hesitated to talk to them because we were shy at first, they answered kindly and with a smile, which ultimately made the interview fun and friendly! Even if we asked difficult questions for them, they answered it with a joke, and we were able to experience the warmth of them. In the final presentation, we made at least 5minutes presentation per person and also did a Q&A session on the content of the presentation. Every group made a high-level presentation to create slides with visuals using photos and graphs and use easy questions to involve audience. We prepared for the questions beforehand, but all the questions were more critical than we had expected, and since they were in English, they were very difficult to answer. Through this activity, we learned how to use English and make a presentation in English, as well as we can get a confidence to speak English.

(Yuto Yamada)

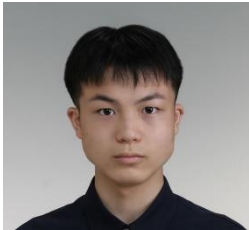


-----  
To be honest, I don't think that I learned to speak English by only this "class". However, this "program" improved my English. I was the first one who didn't speak English. I had only grammatical knowledge in my head and could not use English well when I spoke English. In fact, I think it was one month after this program that I became a confident to speak English. Then, what helped me improve my English was the English-speaking environment, including classes. When I went restaurant, I needed to order by myself. When I traveled alone to Manchester, I also needed to check-in and find public restroom locations. Because there are a lot of opportunity to speak English, I gradually understand why I can't speak. And since I've had the opportunity to interact with a lot of foreigners, I've been motivated to go in to the Scottish culture, even if it's at my own will. I've intentionally started using English when I talk and think to myself. It was one month after the end of this program that I was able to do this smoothly. That said, the program was definitely a catalyst. One month can be described as long or short. I felt this program was very short. It is because everything we see is different from what we see in Japan. So far I have talked about this

program as an English learning experience, but there were many other things I learned besides English. Scottish culture has influenced me a lot. Cashless culture, wheat is the staple food, and trains are often delayed and they don't come to a certain platform. I have seen and heard more than I can put here.

To sum up, I have written a lot so far, but what I can say is that it was really fun, really fresh, and such a great experience that I want to praise myself for deciding to participate in this program at the beginning of my enrollment.

(Shinnosuke Yamano)



I am sure that to take part in this program was very valuable for my life experience. I have three points to support my idea.

The first one is that I can gain confidence in using English, despite I felt my English was not good before I took this program. The experience of using English not only in the classroom at the University of Edinburgh but also in my daily life was very meaningful. In particular, the experience of taking a survey to strangers for final project, was very nervous, but become a valuable experience. The opportunity to speak not only with native English speakers but also with international students at the University of Edinburgh motivated me to use English actively.

The second one is that I can learn about Scotland from various aspects through class and activities with mentors after school class. Especially, it was very interesting to learn about scotch whisky, one of the largest industries in Scotland, through the poster production. Moreover, I remember visiting the National Museum of Scotland with our mentors very well. Because the mentors carefully explained Scottish history to us. That guide was very interesting.

The third one is that living in the same dormitory with YNU members for a month gave me invaluable friends. The experience of cooking dinner and enjoying the meal with them is a very good memory. Also, the experience of going on weekend trips to Dublin and the Highlands with them was very meaningful.

I am convinced that these experiences are only possible because of participation in this program. After experiencing this program, I feel more strongly that I would like to participate in a long-term study abroad program while I am a student in YNU.

(Kento Yoshisaki)